

## 特別企画



### 新理事長挨拶

#### Greetings from New President of JEMEA

京都大学 生存圏研究所 篠原 真毅

Naoki Shinohara,

Research Institute for Sustainable Humanosphere, Kyoto University

〒611-0011 京都府宇治市五ヶ庄

e-mail: shino@rish.kyoto-u.ac.jp

電磁波は、マックスウェルによる存在の預言とヘルツによるその実証により 初めて生み出され、その後の人類の 150 年の発展に多大な貢献をしてきました。その貢献の多くは放送や通信、レーダー技術でしたが、1940 年代に誕生し 実用化が進んだマイクロ波加熱(電子レンジ)技術もその一端を担いました。そして 21 世紀に入り、ただの熱源の代用ではなく、新しい化学反応を生み出す「マイクロ波化学」が登場し、マイクロ波のみならず様々な電磁波のエネルギー応用という側面が期待されるようになりました。そんな中、2006 年に発足したのが日本電磁波エネルギー応用学会(JEMEA)です。2018 年度よりこの JEMEA の新理事長を仰せつかり、日々マイクロ波化学及び工学分野の発展に努力しています。

JEMEA は様々な分野の研究者が垣根を越え、議論に参加できる複合領域の学会です。電子レンジを生み出したのも、もともとはレーダー技術でした。現在、学問や技術の世界はその専門性の袋小路に入り込んでしまい、先が見通しにくくなったといわれています。異分野融合による新しい価値の創造と育成が今最も求められています。JEMEA は様々な 研究者や技術者等が集い、分野を超え議論を行い、それぞれの目標に向かってともに進むことができる場であり、あろうとしています。今後も JEMEA は異分野の研究者がそれぞれの研究に興味を持って議論を行い、相互の良好なコミュニケーションによって新しい学問を生み出せるような、そんな場であって欲しいと願っています。

JEMEA は自然科学分野の異分野融合の複合領域の学会です。自然科学系の学問領域は大学/学界の研究者が推進する学術領域研究だけでは、その研究をより大きく発展させることは難しいと考えています。自然科学系の学術領域の発展はその実用化にかかっており、産業界の研究者/開発者の方々の力なくしては学術の発展はないと考えます。現在 JEMEA はこの産学連携がうまく機能していると自負していますが、今後は産学連携のみならずさらに国や地方自治体という官界とも連携する産官学連携を推進し、イノベーションの創造と育成を行っていきたいと考えています。